

(令和7年1月17日発表)

「紙芝居で伝える子どもの時代」展の開催

◆ アピールポイント	<ul style="list-style-type: none"> ●戦後80周年の節目の年に、静岡福祉大学附属図書館が所蔵する戦前の紙芝居などを展示し、昭和の時代を振り返ります。 ●1973年に出版された印刷紙芝居『きいろいはた』の原板を、全国で初めて公開します。
◆ 日時・期間	令和7年1月23日(木)～3月9日(日) ※休館日(2月10、12、24、26日)を除く 平日：9時30分～19時 土日祝：9時30分～17時
◆ 場 所	静岡市立中央図書館 1階玄関ホール (葵区大岩本町29-1)
◆ 内容など	<p>紙芝居は日本特有の文化として、1930年頃に生まれたと言われています。街頭で子どもたちの楽しみとして広がった紙芝居ですが、第二次世界大戦中は国策から戦争を肯定する作品が作られ、人々を戦争に向かわせる思想戦の道具として使われました。</p> <p>この展示では、戦前の世相を描いた紙芝居や、戦後GHQの検閲を受けた紙芝居を展示することで、激動の時代を生きた日本の子どもたちの歩みを振り返ります。</p> <p>静岡市立中央図書館と静岡福祉大学附属図書館との共催企画で、1月23日(木)と2月1日(土)の13時～16時には、静岡県内で発行された児童絵本・雑誌の研究者であり、今回の企画を担当した静岡福祉大学附属図書館図書課長・^{しんどうれいこ}進藤令子氏が展示の説明を行います。</p> <p>詳細は静岡市立図書館ウェブサイトからご確認ください。</p> <p>https://www.toshokan.city.shizuoka.jp/lib-chuo/exhibit/20250111-80.html</p>

 別紙資料 有・**無**

 しずとしょ広報担当
 名もなきパンダ

【問合せ】

 中央図書館 サービス係 (葵区大岩本町)
 担当 井柳・望月
 電話 054-247-6711

ぜひ取材をお願いします！